



校報

水糸者

No. 1235

元年度・第94号

種小っ子の頑張りとお実が

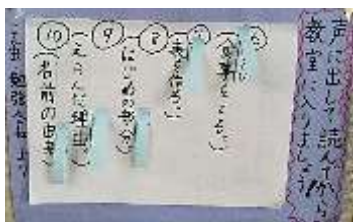
作品や学級掲示



でも、わかります！

校内マラソンも本気で走り切り、今度は11月9日に行われる「学習発表会」に向かい一気に加速している種市小学校です。

普段の学習の様子だけでなく、教室や廊下の掲示物からも日々しっかりと学校生活を送っている種小っ子が伝わってきます。何事にも頑張る種小っ子の姿は、本校が誇る『財産』の1つです。



日頃の学習の頑強りが伝わってくる各学級や廊下の掲示物ですね。子ども達が生き生きと学校生活を送りしっかりと学ぶ様子と、子ども達の心の安定が伝わってきます。

～種小っ子の学びの姿～



「わからん時は教えっこ」
「うれしい時ははしゃぎっこ」
「困った時は助けっこ」をしながら
今日もしっかり学ぶ種小っ子



11月9日の学習発表会に向けての練習も間もなく始まります。何かと慌ただしくなって来ましたが、種小は1つ1つのことにしっかりと集中し、『知徳の方向を』を見据えながら、目先の事に流されずに落ち着いた学校生活を今後も送っていきます。

校長先生、種市小学校の子どもって、 すごいですね。感動しました！

先日、大野地区の男性の方が学校に来ました。

その方は「校長先生、先日の町陸上記録会での種小の女の子の姿が素晴らしくて感動しました。その時に思わず撮った写真を届けに来ました。」と、笑顔で話しました。



よく話を聞いてみると、町陸上記録会の時にある種目で優勝した本校の6年生の女の子が、ゴール後に優勝した喜びを爆発させることもなく、負けて悔し涙を流していた他校の選手に駆け寄り慰め続けていたそうです。その姿に感動し撮影した時の写真を、わざわざ本校へ届けに来てくれたのでした。

8日の全校朝会で「町陸上で頑張り貫いた選手がいる種小、最後まで応援を続けてくれた応援団がいる種小、しっかりと働いてくれた補助員がいる種小、そして自分の喜びよりも泣いていた他の学校の選手を慰めてくれる子がいる種小は、とても素晴らしい学校です。」と、その出来事を全校児童に伝えました。



種小っ子の、本気を出し合い競い合った他校の選手に対する素晴らしい行為と、その事を温かな目で見守り、認め、支えてくれる人が本校の学区外にもいた事がとてもうれしく、誇らしく感じた出来事でした。

本校で大学生が教育実践中です

7日から1週間、本校に大学生が来校し、教育実践活動中です。

教育実践活動を行っているのは、東北福祉大学1回生の石倉美悠さん（本校出身）です。高校時代に出会った先生の影響で、教員になりたいと思ったとのこと。



全校朝会で挨拶する石倉さん。

教育実践活動では教育実習とは違い、子どもを相手に授業を行う事ではなく、本校の学級担任が行う授業を参観するほか、総務担当の教職員の仕事を参観し、数年後に行う教育実習に備えるためのものです。

台風19号に厳重な注意を！



大型で猛烈な勢力の台風19号が、本校の登校日となっている13日（日）の下校時刻あたりに岩手県に最接近するとの予報が、8日の18時の時点では出されています。

このままの進路と勢力で本県に近づいた場合、13日の登・下校時に影響が出る事も予想されます。13日に出発予定の修学旅行も、釜石でのラグビー競技の実施の有無により出発時刻を遅らせる事や、修学旅行行程の変更などの対応が生じる事も予想されます。

休校や登校時刻の変更などが生じる場合や保護者同伴での登下校をお願いする場合は、緊急メールと本校ホームページの緊急告知でお知らせいたします。ご家庭でも登・下校時刻の変更があった場合や休校となった場合の確認をしっかりと行ってください。